



～ 平均値と中位数 ～

平均とは

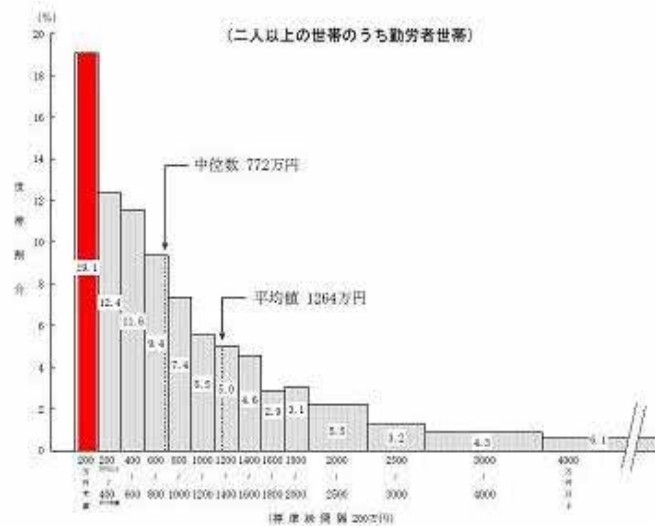
平均とは、ある集団の特定の指標を代表する値をいいます。集団と集団を比較したり、月々の値を平均し、年間の動きを表したりする時に用います。

算術平均：N個からなる集団の各要素の指標の値を合計し、集団に属する総要素数で除して求めます。

中位数：代表値の1つで、変量の値を大きさの順に並べていったときに、丁度中央にある値をいいます。

使用例 平均値を用いて分

析した場合に実感と伴わないことがあります。代表例としては、家計調査の「貯蓄・負債編」の調査結果で、1世帯当たりの貯蓄額が平均値で1,264万円、中位数で772万円と492万円も相違しています。中位数は、標本数を値の順に並べた時の丁度真ん中にくる標本の値を指します。どちらが実感にあった数字と思われますか。恐らく中位数ではないかと思います。



山口市 中分類

また、平均値を計算する時によく使われる方法に加重平均があります。これは、個々の値にその重要度に応じて重み（ウェイト）をつけて計算したものです。消費者物価指数では、実際の家計において穀類や魚介類の消費額の大きさに差がありますから、各指数を単純に平均してしまうと実感から乖離したのになってしまいます。

費目	価付	平成18年	平成19年平均		
		平均	指数	対前年比 (%)	寄与度 (注1)
総合	10,000	99.9	99.3	-0.6	-0.60
食料	2,559	100.6	100.4	-0.2	-0.05
穀類	200	97.8	94.5	-3.4	-0.07
魚介類	240	100.4	104.4	4.0	0.10
生鮮魚介	147	101.0	103.6	2.6	0.04
肉類	212	106.0	106.0	0.0	0.00
乳卵類	113	97.1	96.0	-1.1	-0.01
野菜・海藻	231	103.6	96.6	-6.8	-0.16
生鮮野菜	143	106.8	97.2	-9.0	-0.14
果物	91	102.8	105.7	2.8	0.03
生鮮果物	87	102.9	105.9	2.9	0.03
油脂・調味料	105	99.7	100.0	0.3	0.00
菓子類	225	100.0	101.0	1.0	0.02